

# 小規模企業景気動向調査

[平成20年07月期調査]

～原油高・原材料高騰要因によって 後退局面へと向かう 小規模景況～

平成20年8月13日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:2008年7月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体>

07月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体の業況DIは、マイナス72.5となり、01年12月期のマイナス70.8という数値＝ITバブルがはじけ、商工会の「景気の底」といわれた時を超えてしまい00年以降最悪となった。産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス57.1(前月比マイナス4.4ポイント)、採算がマイナス73.4(同マイナス3.0ポイント)、資金繰りがマイナス64.8(同マイナス1.2ポイント)、業況がマイナス72.5(同マイナス3.3ポイント)である。今期も景気は引き続き低調であり、原油と原材料の高騰は止まらず、全ての業種について大きな影響を与えている。新規投資・運転資金に関する融資については、将来の見通しが全く立たないため慎重になっている様子が見えており、消費者も消費に対して非常に慎重になってきており、全般的に経済の縮小を感じとれるのが今期の小規模景況である。

## <製造業>

製造業については、売上額がマイナス37.3(前月比マイナス3.0ポイント)、採算がマイナス71.1(同マイナス5.4ポイント)、資金繰りがマイナス60.0(同マイナス5.0ポイント)、業況がマイナス67.1(同マイナス4.9ポイント)となった。この7月に洞爺湖サミットが開催されたこともあり、自動車関連の製造業で「世界的な規模でのCO2削減により、廃棄ガス規制が厳しいヨーロッパ向けの車輛売上が減少している」といった世相を反映したコメントが見受けられる。また「特に食料品製造業は、原材料が上昇しているが販売価格に転嫁できず、さらに景気後退感が加わり資金繰りもやや苦しくなり始めている。」といった融資対策がらみの対応が必要となる声もあがっている。採算DIは07年7月期から12ヵ月連続悪化となっている。

## <建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス85.9(前月比マイナス12.2ポイント)、採算がマイナス92.4(同マイナス4.3ポイント)、資金繰りがマイナス84.1(同プラス0.9ポイント)、業況がマイナス92.4(同マイナス3.8ポイント)となった。特に完成工事額DIが対前月比マイナス12.2ポイントといった具合に落ち込み度が著しい。時期的な要因もあるが、「受注工事なし」の企業が目立つ状態であり、「公共事業発注」の見込みもないため経営に苦慮。体力がない企業の多くは、廃業又は倒産へ追い込まれる懸念が後を絶たない。

## <小売業>

小売業については、売上額がマイナス57.3(前月比プラス0.8ポイント)、採算がマイナス70.5(同マイナス1.6ポイント)、資金繰りがマイナス62.6(同プラス0.3ポイント)、業況がマイナス70.1(同マイナス1.4ポイント)となった。特に売上額DIは軽微ではあるがプラスポイントに転じた。猛暑日が多いことに加え、昨年より梅雨明けが早かったためエアコンの売れ行きが好調。一部メーカーは今年の2倍の売れ行き。しかし「オリンピック効果による電化製品の売上が期待していたほど伸びておらず、いまひとつである」というコメントが見受けられている。

## <サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス47.6(前月比マイナス3.0ポイント)、採算がマイナス59.4(同マイナス0.7ポイント)、資金繰りがマイナス52.5(同マイナス1.1ポイント)、業況がマイナス60.6(同マイナス3.2ポイント)となった。夏の休暇・観光シーズンを迎えて、旅館関連サービス業は期待感をにじませたが、原油高によるガソリン高騰により、車での旅行が伸び悩むなど、厳しさが推察される。特に業況DIは5期連続悪化である。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲52.7	▲57.1	▲4.4	▲34.3	▲37.3	▲3.0	▲73.7	▲85.9	▲12.2
採算	▲70.4	▲73.4	▲3.0	▲65.7	▲71.1	▲5.4	▲88.1	▲92.4	▲4.3
資金繰り	▲63.6	▲64.8	▲1.2	▲55.0	▲60.0	▲5.0	▲85.0	▲84.1	0.9
業況	▲69.2	▲72.5	▲3.3	▲62.2	▲67.1	▲4.9	▲88.6	▲92.4	▲3.8

業種	小売業			サービス業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲58.1	▲57.3	0.8	▲44.6	▲47.6	▲3.0
採算	▲68.9	▲70.5	▲1.6	▲58.7	▲59.4	▲0.7
資金繰り	▲62.9	▲62.6	0.3	▲51.4	▲52.5	▲1.1
業況	▲68.7	▲70.1	▲1.4	▲57.4	▲60.6	▲3.2

注) D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

【連絡先】:組織強化対策室 景況・景気動向調査グループ 岡本

TEL:03-3503-1251(内線247)

E-mail:keikyo@shokokai.or.jp